

令和 8 年 3 月 23 日

令和 7（2025）年度 武蔵野市地域生活支援拠点等事業の事業報告

わくらす武蔵野

1、概 要

武蔵野市の地域生活支援拠点等事業は、令和 5 年度より武蔵野市から（社福）武蔵野へ業務が委託（拠点コーディネーター 1 名の配置）されて 3 年目を迎えました。

拠点等事業には、① 相談 ② 緊急時対応 ③ 体験 ④ 専門的人材確保と育成 ⑤地域の体制づくりの 5 つの機能からなりますが、令和 7 年度は ①相談機能についての取り組みを継続しつつ、② 緊急時対応 ③ 体験 ④ 専門的人材確保と育成の機能について新たな取り組みに向けて準備検討を行いました。

2、事 業

（1）拠点相談の取り組み

- 拠点等事業における相談は、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、介護者の急病、死亡等により生じた緊急事態に備えて必要なサービスのコーディネートや相談、その他必要な支援を行う機能です。今年度の新規登録は 1 名で計 10 名の登録となりました。
- 地域生活を送る上で課題やリスクの高いと想定される各種事例について検討しました。
- 相談機能の流れについてのマニュアルを作成しました。来年度以降、市内の他の計画相談事業所にも説明を行い新たな登録の促しを行う予定です。

（2）緊急時対応の体制づくり

- 武蔵野市の中で市単独補助による障害児者のショートステイ事業所（桜はうす・今泉、井の頭はうす、ダン・ウルス、なごみの家）による会議を企画開催しました（5/28）。各事業所の現状と課題等について意見交換を行い来年度も継続して開催する予定です。
- 拠点等事業の観点から、市内のすべての障害のある方の緊急時支援体制（案）をまとめました。来年度以降確定し具体的な運用を図ります。

（3）体験機能

- ダン・ウルスのショートステイ事業の体験機能を活用して精神障害者の地域移行に向けた「体験」試行事業の検討準備を行いました。来年度以降スタートに向けて準備を行いました。
- 拠点会議にて、ミューより精神障害者の地域移行についてレポートのもと学習を行いました。

（4）専門的人材確保と育成

- 強度行動障害のある人への支援については、専門的な人材の確保と育成が求められますが、今年度は強度行動障害のある人たちが多く利用する市内の支援機関（生活介護、施設入所支援、行動援護、居宅介護、地域活動支援センター&指定特定相談支援事業）15 ヲ所を対象にアンケート調査を行いました。その結果、今後の課題として、・人材確保と育成（人材不足、けがの防止、スキルアップなど） ・支援内容の充実（障害特性の理解、チーム支援、権利擁護、根拠に基づいた支援など） ・支援環境の整備（個別支援の場、刺激への配慮など） ・支援関係機関の連携（関係者が情報を共有し一体となって考える支援体制、支援者へのサポート体制など）などの意見がありました。
- 他自治体へのヒヤリングとして、強度行動障害コーディネーターを独自に配置している八王子市の担当部署へ ZOOM と訪問によるヒヤリングを行いました。

(5) 地域の体制づくり

○令和 6 年度アンケートによる現状調査を行ったグループホームに呼びかけて市内グループホーム会議（11/11）を開催し来年度も継続して開催することが決まりました。

○前述の八王子市へのヒヤリングの際、八王子市の拠点等事業の内容や体制について伺いました。

○地域自立支援協議会・相談支援ネットワーク部会に拠点コーディネーターが委員として参加しました。また、9/1、3/23 自立支援協議会・親会にて事業報告を行いました。

3、運 営

(1) 拠点会議

武蔵野市における地域生活支援拠点等事業の企画運営、相談機能の登録判定など運営全般を担う役割として拠点会議を毎月実施しました。

〔参加者〕 基幹相談支援センター、わくらす武蔵野、ミュー、コット、ほくと、びーと
相談支援機関から相談員等が参加。

〔実績〕 4/10, 5/1, 6/5, 7/3, 8/7, 9/4, 10/2, 11/6, 12/4, 1/8, 2/5, 3/5 計 12 回

(2) 拠点代表者会議 6/12 12/11 3/12

拠点等事業の進捗状況や全体的な視点に立った事業運営についての協議しました。

〔参加者〕 市基幹相談支援センター、市内各地域活動支援センター（ライフサポートMEW、コット、びーと）、及び、ほくと、わくらす武蔵野の各事業所の管理者が参加。

(3) 拠点実務会議

市基幹相談支援センターとわくらす武蔵野による拠点等の運営事務等の実務会議。

〔実績〕 4/25, 5/22, 6/26, 7/23, 8/28, 9/25, 10/30, 11/25, 12/25, 1/29, 2/19, 3/26 計 12 回

4、まとめ

以上、今年度地域生活支援拠点等事業の 5 つの機能それぞれにおいて取り組みをスタートさせました。

次年度は、① 相談における登録の拡充、② 市内の緊急時支援体制の具体的な運用、③ 精神障害者の地域移行のための体験の試行の取り組み ④ 強度行動障害支援の関係機関との連携、⑤市内関係事業所等に対して拠点等事業の説明と登録の促し、自立支援協議会との連携など各機能の事業について推進します。

以 上